

お父様を永遠に忘れません

父母の日は統一教会で一番最初に制定された名節です。1960年3月1日(陰暦)午前4時に旧本部教会で真のお母様をお迎えしての婚約式が行われました。その日に父母の日として定め、記念日になりました。その父母の日が制定されることによって、子女の日が、万物の日が順次制定されていきました。ですので統一教会は父母の日から始まったのです。アダムとエバの墮落以後失ってしまった父母を取り戻したという事を記念する日であり、この日があったことによって子女が立ち、私たちが祝福を受けることが出来たのです。父母の日がなければ私たちに祝福がありませんでしたから、このように我々においても大事な意味ある日であるという事がわかります。父母が立つことによって私たちが神様の前に生く道が開かれたのです。神様の復帰摂理の目的は、真の父母を探すことでした。父母を迎えたという事は、大きなことです。イエス様が男性として立たれたのですが、相対となる女性が立つことが出来ませんでした。イスラエル民族はその内容が分からずに協助することが出来なかったので、イエス様は再臨することを約束されました。そして再臨された真のお父様は、何より弟子を探すよりも新婦を探すことを最優先に歩まれました。その新婦を迎え、夫婦として因縁を結んだのが3月1日午前4時のことでした。

この父母の日を迎えて、食口の皆様をお願いしたいのは、皆様の口で証しをしていただきたいという事です。祝福を受けることができ、世界がどう変わっていくのか、どのように努力するべきなのか、それらを含めて皆様が証し出来るような父母様にならなければならないのです。誰もが屈服する内容が、父母様が歩まれてこられた実績なのです。実績の前には誰もが認めざるを得ないのです。私たちがしっかりと受け止め、証しできるようになってくださるよう願います。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします  
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、聖和 2 周年特別精誠期間

TFが聖和され、震災3年を越え2014年7月にラスベガスのPeacePalaceがついに奉獻されることになりました。聖和の直前まで日本を愛してくださったTFの愛を追慕し震災から3年の期間を象徴した3次に渡る2周年特別精誠期間をもって参りますので天一国時代を超えて日本の復興を具体的に天に奉獻して参りましょう。

- 1次:天暦2月3日(陽暦3月3日)～天暦4月2日(陽暦4月30日)
- 2次:天暦4月3日(陽暦5月1日)～天暦6月4日(陽暦6月30日)
- 3次:天暦6月5日(陽暦7月1日)～天暦7月16日(陽暦8月11日)

3、真の父母様御聖婚 54周年記念式典

日時:2014年4月15日(火)  
場所:天正宮  
11:30～記念午餐会が行われる予定です。

4、しあわせセミナー(新規向け講演会)

日時:2014年4月16日(水)10:30～  
場所:浦和教会

5、自叙伝書写大会

日時:2014年4月17日(水)10:30～  
場所:浦和教会

6、代々木聖地リレー祈禱会

4月3日(木)～毎日(土日祝日以外)am5:00～  
代々木聖地において、各教会でリレー祈禱会を行うことになりました。  
浦和教会は4月17日になります。

7、CIG研修会

日時:2014年4月18日(金)10:30～  
場所:浦和教会  
講師:森山 操先生

8、東埼玉教区 つつじ浄火祭 清平ツアー 3泊4日

期間:2014年5月10日(土)～5月13日(火)  
費用:76,000円

9、VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会

第12回:2014年4月17日(木)～4月22日(火)  
第13回:2014年5月10日(土)～5月15日(木)  
第14回:2014年6月19日(木)～6月24日(火)

【年頭標語】

창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification  
of World Christianity Urawa Church  
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12  
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797  
E-mail: uc.urawa@gmail.com

## 式次第



執礼者：李 炯燮教区長  
司会者：田川 敏教育部長

開 会	.....	司会者
黙 禱	.....	全 体
※開会讃頌	..... 聖歌 22番 .....	全 体
※敬 拝	.....	全 体
※家庭盟誓	.....	全 体
代表祈禱	.....	中村敏樹
讃 頌	.....	聖歌隊
み言訓読	.....	全 体
説 教	天一国憲法の時代	
※讃 頌	..... 聖歌 7番 .....	全 体
※祝 禱	.....	執礼者
※全体祈禱	.....	全 体
教会音信	.....	司会者
閉 会	.....	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

## 今週のみ言

天宙平和統一国(以下、'天一国')は、地上と霊界の全人類が神様を父母として侍り「神様のもとの一家族(One Family under God)」の理想が実現された世界である。神様ははじめに人間と万物を創造され、このような天一国を念願されたが、人間始祖の墮落により、このみ旨は全うされず、苦痛と恨の心情を持たれ、復帰摂理を導いて来られた。

神様は、延長された長い復帰摂理歴史を経て、文鮮明・韓鶴子御夫妻を人類の救世主、メシヤ、再臨主、真の父母としてこの地に送られた。天地人真の父母様(以下、'真の父母様')であられる文鮮明・韓鶴子御夫妻は、人類が失った神様のみ言を探して全世界に宣布され、全ての宗教の理想を成し遂げて、神様の真の愛、真の生命、真の血統を永遠に、天宙的に定着させ、相続させて下さった。真の父母様の歩まれた路程は、言葉に言い尽くせない犠牲的蕩滅と精誠をもって成し遂げられた天宙的勝利の宝庫であり、すべての人間が従って行かねばならない人生の典型である。

真の父母様は、復帰摂理を通じて最終一体を成し遂げられ、全ての使命を完成、完結、完了され、天一国の永遠なる平和の王の位相を備え、その上で、天一国元年天暦1月13日、実体的天一国の出発である基元節を宣布された。

本憲法は、天一国の国民全てが、真の父母様の生涯を通じて見せてくださった実体み言を自ら成し遂げていけるよう導く法度、規範、指針として、天一国を定着、完成させ得る普遍的で実質的な生活体制、家庭体制、国家教会体制、世界教会体制を持つための教会規範として制定された。

本憲法は、神様と真の父母様に侍って、宗教、国境、人種、性別、文化等の壁を越えて真の愛の心情文化を輝かしく花開かせる中で、理想家庭を通じた平和世界を追求し、人類の和合を導く満場一致制を目指す。

天一国は、真の父母様の祝福のもと、本憲法を天一国2年 天暦1月13日、全ての人類と天宙の前に発布する。

～天一国憲法 前文～

## 統一運動

「真の家庭国民運動推進全国会議 結成式」を開催

天暦3月2日(陽暦4月1日)午後2時から神奈川県川崎市にある宮崎台研修センターにおいて、「真の家庭国民運動推進全国会議 結成式」が開催され、全国の牧会者ら約430人が集まりました。

まず、同会議の梶原正義事務総長から経過報告があり、昨年12月15日に韓国で行われた「世界指導者前進大会」で韓鶴子・世界平和統一家庭連合総裁が、「統一家の祝福家庭と平和大使の方々は、内実を固めながら、真の家庭運動、純潔運動の先頭に立ち、全世界の青少年問題、家庭破綻、犯罪などすべての破壊力を防ぐことのできる実質的な運動を展開してくださいようお願いいたします」と強く訴えられたことを紹介。この運動を通じて、「国と世界が抱える現実問題に代案を提示すべきである」と訴えました。

続いて、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長が激励の辞を述べ、「人類歴史の総決算は、真の家庭運動にある」という文鮮明師のみ言を引用しながら、「真の家庭運動は、日本を救う、救国運動となる」と力説しました。徳野英治・日本統一教会会長の記念の辞では、パワーポイントを用いながらこの運動の方向性について、「家庭再建、国家再建の救国運動として展開していく」と強調。また、「祝福家庭が(この運動の)先頭に立つ」ことや、「他団体とも方向性を共有し、パートナーシップを構築していく」と述べました。

